

観測部月報

★

東亞天文協會

★ 流星課だより (107)

課長 小 槇 孝 二 郎

十月の流星群中、最も顯著なものは下旬のオリオン双子の流星群である。本年は、24日が下弦になるので、観測には、むしろ、条件が悪い。昨年、一昨年同様、極大の頃は、一時間平均30~40個の流星を見得たのであるから、本年度も充分の注意を促したい。英國の P. M. Prentice 氏が発見したところによれば、この流星群は、少くとも千個以上の、別々の流星群が混成せるものであつて、デニング氏等が“停止輻射點”と稱したのは、これ等の混同に基くものとしてゐる。(Journal B. A. A., vol. 46, 9) かい事實の調査は、微光の流星をたよりにするか、又は寫真的方法が有効と思ふが、輻射點附近の長時に亘る観測が又有効であることをのべて、流星課員の奮起を希望する。

9日前後のジャコビニ流星群、及び本月下旬から十一月にかけて活動する牛座群の注意も肝要である。

× × × × ×

前回報告後、到着した観測は、下の通りである。

山 人 武 正 (香川縣) 七 月

吉 井 耕 一 (廣島縣) 五 月 (第二)

七月末、筆者が観測した水瓶座 δ 流星群の、観測結果の概略は次の様である。

日 附	開 始——終 了	流星數	水瓶 δ 群
七月29—30日	22時45分——0時05分(80分)	22	11
30—31	23時20分——0時50分(90分)	33	11

(1940—8—2)

★ 掩蔽課の報告

金星の掩蔽の観測 去八月1日、早曉の東天に於いて金星が月のために掩蔽された現象は、急報 436 に豫報した通り。山本一清博士は此の現象の観測を確保するため、七月31日午後京都發西下、岡山で水野主事と會合、同道して同日21時倉敷天文臺着。休憩の後、翌朝3時、會々來集した有志家數名と共に観測に着手した。空は極めて淡い卷雲があつたが、土星や木星を始め、一等級の星は明らかに見えてゐた。風は殆んど無かつた。山本博士は岡林滋樹氏を助手とし

38センチの反射鏡に200倍の倍率を用ゐつゝ、下の如き結果を獲た。

金星の北角が月の輝線に接觸	4時30分39秒
〃 南角 〃	4 31 17
〃 [タ]ミネ[タ] 〃	4 31 26
〃 輝線 〃	4 31 40.9

次いで日出直後、5時32分頃、金星が月の暗縁から出現する筈であつたが、あひにく空には雲が増し、東天を掩ふたので、観測は不能に終つた。(急報437)

尙ほ、此の掩蔽は香川縣の久保茂氏、其の他多くの人々が各地で観測された由、報告に接した。

★ 太 陽 課

報告者15名、その中、新報告者二君を紹介します。永續を望みます。

金山 明君 30mm 屈折機、×26、投影 尼ヶ崎市昭和南通

樋口 操君 25 〃 〃 , ×50、直視 大阪市北區

七月は、度々颱風が襲つて來たりして、悪天候に終始した月であつた。全員で捕へても、8ヶ日が缺測になつた。個人的に見ても、千葉の江川氏が28ヶ日の観測を遂行された以外、多い観測者は無い。以上のやうな理由で、詳しい様子が全然分らないと云つてよいが、16日子午線を通過した群($98^{\circ}+7^{\circ}$)は大群であつた。次に、新群は瀬戸では33群認め、北半球15群、南半球18群であつた。そのうち、東端から出現のもの8群、途中突發のもの8群、悪天候のため何れか不明のもの17群であつた。

高緯度群としては、北半球では、20日出現の群($0^{\circ}+27^{\circ}$)であり、南半球では3日出現の群($198^{\circ}-21^{\circ}$)であつた。(以上“黒點日記”第6號より)

今月も例月通り杳掛、津留氏等より黒點緯度の報告を受納した。杳掛氏の最高緯度群は、北半球では、19日で 25° 、南半球では3日で 20° である。

次に、経緯度観測者のため9~10月の必要な數値を示します。

U. T.	P.	B.	L.
9 月 1	+21.13	+7.20	197.59
7	22.56	7.25	115.35
14	23.96	7.21	25.92
21	+25.07	+7.06	293.51
30	26.01	6.73	174.74
10 7	26.35	6.36	82.38
14	26.35	5.89	350.03
21	25.97	+5.34	257.70
30	24.93	4.51	139.01

太陽黑點相對數報告 (1940年7月)

觀測者 (觀測地)	江川 義 (千葉縣柏町)	富田弘一郎 (東京市世田谷區)	阿部 正明 (東京市池袋)	棚田 泰生 (橫濱市鶴見區)	香掛 七二 (長野縣青木村)	大石 辰次 (靜岡縣吉永村)	正村 一忠 (岐阜市溝旗町)	木邊 成廣 (滋賀縣中里村)	和歌山 高商 太陽課	樋口 操 (大阪府北區)	竹内 潤 (大阪府天王寺區)	前橋榮太郎 (大阪府明星商業)	金山 明 (尼ヶ崎市昭和通)	谷口 裕康 (神戸市暮谷區)	岡林 滋樹 (倉敷天文臺)	本田 實 (瀬戸觀測所)	津留 繁雄 (熊本市本莊町)	坂上 務 (鹿児島市山下町)
口径 mm	42	130	75	75	40	30	25	32	50	203	75	25	55	102	20	28	40	30
倍率	64	48	60	60	50	26	54	50	50	136	60	48	64	75	50	45	32	50
方法	投	投	直	投	直	投	直	直	直	直	直	直	直	直	直	投	直	直
1	缺	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
2	缺	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
3	缺	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
4	缺	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
5	缺	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
6	67	53	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
7	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
8	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
9	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
10	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
11	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
12	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
13	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
14	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
15	52	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
16	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
17	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
18	65	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
19	67	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
20	62	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
21	61	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
22	75	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
23	52	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
24	旅	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
25	旅	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
26	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
27	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
28	65	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
29	75	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
30	66	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
31	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
觀測日數	11	3	17		16	8	19	12	18		17		16	17	2	6	20	28
一日平均	52				65	54	40	36	44		76		44	70		75	76	50
前月平均			78		93			50			78		63	94		91	73	

訂正: 天界231號5月分津留氏相對數30日77, 31日51をそれぞれ71, 57と訂正します。又, 天界 232 號阿部氏のを3日101を79, 18日84を73, 26日149を138とそれぞれ訂正します。

9556.9	7.6	Ys	242	86.0	11.5	Ob	15.0	6.4	Kb		
74.9	7.5	"	9451.0	9.9	Kb	87.0	11.4	"	17.0	6.3	"
91.9	6.9	"	67.0	9.9	"	87.0	11.0	Kb	21.0	6.4	"
χ Cyg (ミラ型)			90.0	10.1	"	90.0	10.5	Ob	28.9	6.4	"
1939 XIII~XI (16Est)			9511.0	10.1	"	90.0	11.0	Kb	CI Ori (不規則)		
242			74.9	10.2	"	92.0	11.2	Ob	1939 XII (1 Est)		
9490.0			9607.9	10.4	"	92.0	11.0	Kb	242	9572.0 4.7 Ob	
91.0			09.9	10.7	"	93.0	11.3	Ob	a Ori (μ Cep 型)		
95.0			12.4	10.5	"	93.0	11.0	Kb	1939 X~XII (11 Est)		
9506.0			β Lyr (食)			95.0	11.0	"	242		
11.0			1939 XII (1 Est)			96.0	11.0	"	9566.1 0.5 Si		
12.0			242			9504.9	11.0	"	67.3 0.6 "		
20.0			9604.9 4.4 Tr			07.0	11.2	"	69.1 0.6 "		
30.1			V Oph (ミラ型)			10.0	11.2	"	71.2 0.6 "		
31.0			1939 VII~VIII (4Est)			12.0	11.2	"	74.1 0.7 "		
37.0			242			14.0	11.1	"	76.2 0.7 "		
37.0			9452.0 10.5 Ob			26.0	10.9	"	78.1 0.6 "		
37.9			59.0 10.5 "			28.0	11.2	"	79.1 0.6 "		
43.0			64.0 10.5 "			29.0	11.2	"	82.1 0.8 Kb		
74.9			83.0 10.4 "			31.0	11.2	"	82.3 0.6 Si		
91.9			RS Oph (類新星)			36.9	11.2	"	9617.2 1.0 Kb		
TX Dra (半規則)			1939 VII~XI (40 Est)			42.9	11.1	"	β Per (食)		
1939 X~XII (5 Est)			242			49.0	10.9	"	1939 IX (1 Est)		
242			9447.0 11.1 Kz			65.9	11.2	"	242		
9551.0			51.0 10.9 Kb			72.9	11.2	"	9537.0 2.4 Tr		
54.0			53.0 11.3 Kz			73.9	11.3	"	ρ Per (μ Cep 型)		
72.0			60.0 11.1 Kb			74.9	11.3	"	1939 IX (1 Est)		
75.0			64.0 11.5 Ob			T Ori (R CrB 型)			242		
9604.9			64.0 10.9 Kb			1939 XI~XII (2 Est)			9537.0 2.4 Tr		
AC Her (RV Tau型)			67.0 11.1 "			242			ρ Per (μ Cep 型)		
1939 X (2 Est)			68.0 11.1 "			9583.1 10.0 Ob			1939 IX (1 Est)		
242			80.0 11.1 "			9602.0 1.03 "			242		
9550.0			80.0 11.2 Ob			BL Ori (μ Cep型)			9537.0 4.1 Tr		
54.0			83.0 11.1 Kb			1939 IX~XII (7 Est)			R Scl (ミラ型)		
DQ Her (新星)			84.0 11.0 Ob			242			1939 X~XI (4 Est)		
1939 VII~XII (8 Est)			85.0 11.1 Kb			9530.3 6.4 Kb			242		
						610.0 6.5 "					
						13.0 6.4 "					

9557.0 7.9 Ob	R Sct (半規則)	W Sgr (δ Cep 型)	9555.9 9.0 "
70.0 7.9 "	1939 IX (6 Est)	1939 IX~X (2 Est)	56.9 9.0 "
79.0 7.7 "	242	242	58.9 8.6 "
98.0 7.9 "	9516.0 5.4 Ys	9537.0 3.3 Tr	64.9 8.6 "
R Sco (ミラ型)	18.9 5.4 "	38.0 4.4 "	65.9 9.0 "
1939 VII (2 Est)	19.9 5.5 "	RY Sgr (R CrB 型)	67.9 8.5 "
242	21.0 5.5 "	1939 VII~X (9 Est)	69.9 8.6 "
9461.0 10.7 Ob	36.0 5.3 Tr	242	73.9 8.5 "
64.0 11.0 "	37.0 4.8 Ys	9463.0 7.5 Ob	74.9 8.5 "
S Sco (ミラ型)	RT Ser (新星?)	64.0 7.5 "	77.9 8.5 "
1939 VII (2 Est)	1939 VII~VIII (4 Est)	83.1 7.2 "	78.9 8.9 "
242	242	84.0 7.4 "	80.9 8.9 "
9461.0 10.0 Ob	9457.1 9.8> Ob	90.0 7.1 "	AR Sgr (RV Tau 型)
64.0 11.9> "	61.0 9.6> "	91.0 7.1 "	1939 VII~XI (17 Est)
RR Sco (ミラ型)	64.0 9.6> "	92.0 7.1 "	242
1939 VII~IX (9 Est)	84.0 9.8> "	9536.9 7.3 "	9452.0 9.2 Ob
242	R Sgr (ミラ型)	37.9 7.3 "	57.0 9.3 "
9451.0 8.4 Ob	1939 VII~X (7 Est)	SU Sgr (?)	60.1 9.3 "
57.0 7.9 "	242	1939 VII~XI (29 Est)	63.0 9.4 "
63.0 7.8 "	9453.1 9.6 Ob	242	83.0 9.7 "
83.0 6.8 "	57.1 9.8 "	9452.0 8.5 Ob	86.0 9.4 "
90.0 6.0 "	63.0 10.1 "	57.0 8.5 "	90.0 9.7 "
92.0 6.2 "	83.0 11.1> "	60.1 8.4 "	91.0 9.3 "
9511.9 5.3 "	86.0 11.1> "	63.0 8.5 "	9517.0 9.4 "
19.9 5.5 "	90.0 11.1> "	83.0 8.6 "	18.9 9.4 "
26.9 5.3 "	9554.9 9.7 "	86.0 8.5 "	36.9 9.4 "
V 380 Sco (ミラ型)	S Sgr (ミラ型)	90.0 8.6 "	67.9 9.9 "
1939 VII~VIII (6 Est)	1939 VII~X (7 Est)	91.0 8.5 "	69.9 9.5 "
242	242	9511.0 8.5 "	73.9 10.2 "
9451.0 9.6 Ob	9453.1 10.2> Ob	11.9 8.5 "	74.9 10.3 "
57.0 9.5 "	59.1 11.1> "	17.0 8.5 "	77.9 10.3 "
63.0 9.6 "	63.0 11.1> "	18.9 8.5 "	78.9 10.4 "
83.0 9.7 "	83.0 11.1> "	20.0 8.5 "	RR Tau (R CrB 型)
87.0 9.5 "	86.0 11.1> "	20.9 8.5 "	1939 X~XII (45 Est)
92.0 9.7 "	90.0 11.1> "	36.9 9.0 "	242
	9554.9 10.0> "	37.9 8.6 "	9550.1 12.6 Kz
		49.9 9.2 "	57.0 11.9 "
			58.0 11.7 "

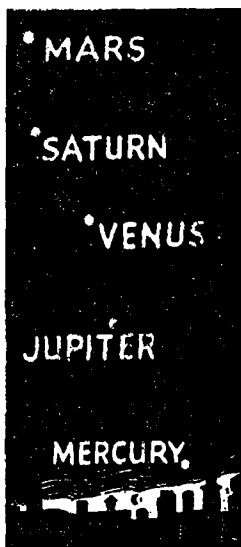
9563.2	11.3	Kz	9583.1	12.1	Kz	9617.9	11.5	Ob	9609.9	9.1	Kb
65.1	11.3	"	85.0	12.8	"	18.0	12.1	Kz	12.9	9.1	"
66.1	11.4	"	88.0	12.8	"	20.0	11.7	"	18.0	9.1	"
69.1	11.4	"	93.0	12.5	"	21.0	11.27	"	21.0	9.1	"
70.0	11.4	"	94.1	12.7	"	21.9	11.2	"	R Tri (ミラ型)		
72.1	11.4	"	95.0	12.1	"	23.9	11.4	"	1939IX~XI (6 Est)		
73.0	11.4	"	97.0	12.5	"	24.9	11.7	"	242		
75.0	11.5	"	99.0	12.2	"	26.1	11.8	"	5515.0	8.0	Yd
76.1	11.5	"	9601.0	12.1	"	27.0	11.3	"	18.3	7.9	"
78.1	11.7	"	02.0	11.4	Ob	SU Tau (R CrB型)			19.3	7.9	"
79.0	11.7	Ob	06.0	11.7	"	1939XI~XII (7 Est)			54.0	8.9	"
79.1	12.1	Kz	07.1	11.5	Kz	242			68.9	9.5	"
80.0	12.1	"	07.9	11.5	"	9573.1	9.1	Kb	70.0	9.5	"
81.0	12.6	"	12.9	11.0	Ob	75.1	9.5	"	(終)		
82.0	12.6	"	15.0	11.5	"	9602.0	9.2	"			
83.0	11.4	Ob	17.0	12.2	Kz						

★ 黄道光課

東京の中野繁氏から三月27, 28兩日夕刻の, 又, 静岡縣の醍醐正氏から八月13, 17兩日曉天の觀測報告を受領した。火星と金星とが頂點附近に輝やいてゐるため, 妨げられ, 輪廓も大に歪められてゐる。

今年後半は金星が曉天に見えるため, 又, 黄道光の妨げとなる。來年にもなれば, 年初の一二月は西天が觀測に適すると思はれるが, 三月頃からは木星が此の視野に入つて來る。來年の秋の曉空は大遊星の光りの妨げがないから萬事は良からう。

(山本)



今年の初め

五大遊星が夕暮れの西空に集まつた時のアメリカ新聞の切り抜きより